

4 事業の実施状況

(4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

研究内容

A 令和2年度研究発表業績

ア診療部

医局

1. 橋本脳症の再燃が疑われ、高次脳機能再評価が病態解明に寄与した一例
いわてリハビリテーションセンター診療部○森潔史、佐藤義朝、大井清文、阿部深雪、村上英恵
岩手医科大学・リハビリテーション科 西村行秀
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府(WEB) 2020年8月19日
2. 高解像度マンOMETRYによる多系統萎縮症(MSA-C)の嚥下障害の経時的評価
いわてリハビリテーションセンター診療部○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、村上英恵、大井清文
岩手医科大学・リハビリテーション科 西村行秀
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府(WEB) 2020年8月20日
3. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業による平成30年度までの4年間の活動の拡がり
と課題について
いわてリハビリテーションセンター診療部○大井清文、佐藤義朝、阿部深雪、森潔史、村上英恵
岩手医科大学附属病院・リハビリテーション医学科 西村行秀
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府(WEB) 2020年8月21日
4. 脳梗塞後にCRPSを発症し、ボツリヌス療法が感覚過敏に有効だった一例
いわてリハビリテーションセンター・診療部○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、遠藤英彦、熊谷瑠里子
大井清文
岩手医科大学・リハビリテーション医学科 西村行秀、西山一成
第48回日本リハビリテーション医学会東北地方会 青森県青森市(WEB) 2020年10月3日
5. 嚥下内視鏡検査にて垂直位の喉頭蓋が誤嚥リスクとなった一例
いわてリハビリテーションセンター・診療部○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、遠藤英彦、熊谷瑠里子
大井清文
岩手医科大学・リハビリテーション医学科 西村行秀、西山一成
第49回日本リハビリテーション医学会東北地方会 宮城県(WEB) 2021年2月27日

イ 看護部

6. 短期記憶障害による抑うつ症状を伴った患者への生活場面でのリハビリテーション効果
○兼子枝都恵
日本リハビリテーション看護学会第32回学術大会(電子配信) 2020年11月
7. 大腿骨頭部骨折のリハビリテーション目的で入院した認知症高齢者に対する看護と介護の共同に関する報告
○小野沢美佳、中村令子(東北福祉大学健康科学部保健看護学科)
第13回岩手看護学会学術集会 2020年10月31日～11月16日(オンデマンド配信)

ウ 機能回復療法部

理学療法科

8. 外出・外泊時の転倒減少に向けた多職種協働による患者・家族指導の取り組み
○中村一葉、山本晶子(OT)、西舘初美、後藤由美、上斗米律子(Nrs)、森潔史(Dr)
回復期リハビリテーション病棟協会 2020年度研究発表会(WEB) 2021年3月1日～2日

作業療法科

9. 上肢近位部へ随意運動介助型電気刺激装置(IVES)を併用しCI療法を行った症例
○千葉聖也、山本晶子
第30回東北作業療法学会 福島県郡山市(Web) 2020年9月5～24日
FIM理解向上にむけた取り組み～院内研修会の結果から見えた現状と課題～
○長山悦子、高山葉、鷹觜悦子、大井清文(診療部)
2020年度回復期リハビリテーション病棟協会研究発表会 Web開催 2021年3月1日～2日

臨床心理科

10. 高次脳機能障害支援ツール「高次脳機能障がいカルタ」を通じた今後の普及活動に関する一考察
高次脳機能障がい支援担当者○吉田賢史、大江みづほ、上田大介、阿部深雪、村上敏昭、後藤敦博、
村田美歩、八重樫一洋（地域支援部）、大井清文（診療部）
2020年度回復期リハビリテーション病棟協会研究発表会 Web開催 2021年3月1日～2日

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年2回実施している。

ア 第52回院内研究発表会 2020年3月5日～3月25日（オンデマンド配信）

1. 脳梗塞後にCRPSを発症し、ボツリヌス療法が感覚過敏に有効だった1例
診療部：佐藤義朝
2. 大腿骨頭部骨折のリハビリテーション目的で入院した認知症高齢者に対する看護と介護の協働に関する報告
看護部：小野沢美佳
3. 回復期病棟脳卒中患者におけるFugl-Meyer Assessment各項目得点とFIM運動項目との関係
理学療法科：山下浩樹
4. 上肢近位部へ随意運動介助型電気刺激装置（IVES）併用しCI療法を行った症例
作業療法科：千葉聖矢

C データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）

- ア データベースソフトの構築
- イ データベース入力手順の取り決め及び運用
- ウ データベース入力（約5195症例）
- エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

- ア 機器の精度の検討
- イ 測定法、データ分析の指導を受ける（片麻痺患者の運動解析、健常者における運動機能分析）
- ウ 健常者、患者の動作計測
- エ 学会等で発表
- オ センター職員への教育

E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

- ア 第47回国際福祉機器展 2020年10月21日（Web）
作業療法科 吉田 健

F 研究開発部センター内情報発信活動

- ア 研究開発部マガジン（1回/月、院内向け）No. 323～333 発行
- イ これってな～に??（1回/月 院内向け）No. 111～122 発行
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。
 - ・ホームページの紹介
 - ・リハニュース 福祉機器の紹介
 - ・トピックス
 - ・学会、研修会情報
 - ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

- ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
- イ 動画編集システムの管理、運営
- ウ 統計処理のアドバイス
- エ 統計勉強会

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

- ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
- イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究
- ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
- エ C I療法に関する研究
- オ 嚥下障害に関する基礎研究（VF検査も含む）
- カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
- キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析
- ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
- コ 失語症者における聴覚機能に関する研究
- サ 車いすシーティングにおける基礎的研究
- シ 自動車運転シミュレーターを用いた多発性硬化症患者における自動車運転能力の研究
- ス 脳卒中者に対する理学療法実施量が患者の機能および能力の改善にあたえる影響についてのクラウドシステムを利用した大規模調査

I その他

- ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力
- イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
- ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
- エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究
- オ 県立大学と共同研究 ①失語症と聴覚機能の評価②失語症者向け自主練習用アプリの開発
- カ データベース構築に関するシステム開発